

<ひとこと>教科書が大幅に変わりますね。我が家のゆとり教育で育った子の将来が心配です。

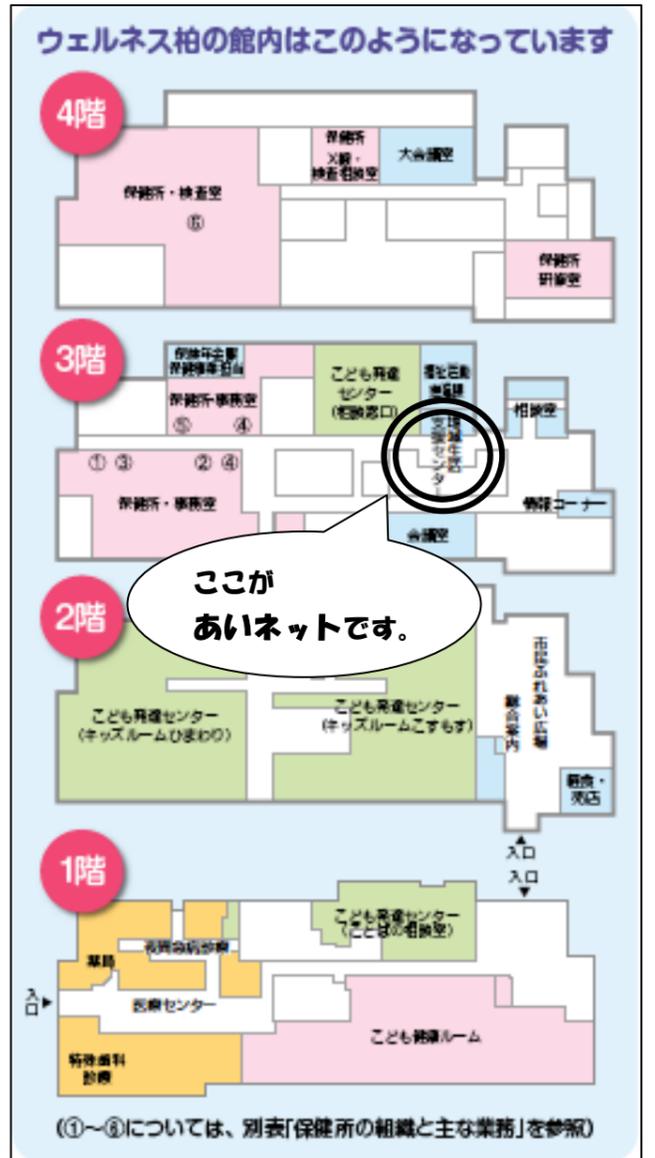
あいネット 移転しました。

4月5日(月)より、総合福祉施設『ウェルネス柏』内

この『じんけん』ぼんを作成している時は、まだ引越し前なので、ほんとは無事に引越せるのか？くらいにあたふたとしているところです。みなさまに晴れて引越し完了！と伝えられ、それが現実となるようがんばらなくては。

さて、真新しい新センターの3階ではカウンターがずーっと長く続いており、あいネットから始まり(または終わりですが)、就学相談、こども発達センター、そして保健所の相談窓口のカウンターとなつていきます。相談室が5つあり、その一部を使わせていただくことになっていきます。その相談室が立派な個室過ぎて、あいネットとしては使い勝手が？という気もしますが、贅沢というものでしょうか。何よりもこのセンターの場所が車では問題が少ないですが、駅からバス経由となり、ご不便をおかけします。この施設で働く人は約200人、夜間診療所や期待の特殊歯科診療もあり、多くの人が利用する施設でもあります。

今後、この建物にいらしたときには、用事があつてもなくてもぜひあいネットにもお寄りください。お待ちしております！



※広報かしわ 平成22年3月号より抜粋

柏市バリアフリー基本構想検討協議会 3月23日(火)開催

第6回目の協議会が3月23日に開催されました。『柏市バリアフリー基本構想』(案)の検討が今回のメインですが、すでに前回までにも出されているものと大きな変化はないため、最終確認作業となりました。

この基本構想は、上位計画に「柏市第四次総合計画」があり、それを踏まえたものであると同時にその他の部門計画との整合をはかった構想とあります。その他の計画とは、下記にあるものであり、基本構想の計画期間は平成22年(2010年)から平成37年(2025年)までとなっています。15年間にわたる計画がそのままではなく、状況により期間中の見直しもありとされています。

バリアフリー化の推進に向けて、スパイラルアップによる推進=計画づくり・設計⇒実施⇒評価⇒評価を踏まえた推進という段階を積み重ねていくとされています。

そのために

[各段階で利用者の意見を反映させるために]

1. 市民が主体的に動くしくみづくり
 2. 意見を言い出しやすいしくみづくり
 3. 本当に使いやすい施設をつくるためのしくみづくり
- [全体の流れをチェックするために]
4. バリアフリー化の進捗を継続的に点検・管理するしくみづくり

を進めていくことになっています。

以上が実現していくことは必要であり、ぜひ実施していきたいことです。実現に向けては予算の問題も深く関わることですが、2010年度は確定しており、残念ながら、バリアフリー化の推進に向けては少ない予算と言わざるを得ないのが現状ですから、「誰にとっても」「本当に使いやすい」はどういうもの・ことかを考えながら、有効に使っていくためにはまさに市民が主体的に動くことが必要です。

<その他計画>

- 柏市都市計画マスタープラン
- 柏市総合交通計画(策定中)
- 柏市地域健康福祉計画
- 柏市高齢者いきいきプラン 21
- ノーマライゼーションかしわプラン
- 柏市次世代育成支援行動計画





<はみ出しひとこと>
 4月から、あいネットに新しい職員が入職します。
 近々、事業所にご挨拶に伺わせていただきます、宜しくお願いいたします。

手前みそですが…

地域活動支援センターまんとんが5月より始まります！
 それでは勝手にQ&A

Q.「まんとん」それなんのこ
 と？

A. この名称の意味は満天(の星)でもあり、満点でもあり、今のままでも満点、自分なりの満点を目指すもよし、それぞれの満点・まんとんあり
 と自分のイメージでどうぞ。

Q. どこがやるの？

A. 社会福祉法人生活クラブが東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」の協力を得て初めての地域活動支援センターⅢ型を立ち上げます。
 柏市内ではすでに先輩方の尽力により地活が活発に活動されていますが、当センターの特徴は、高次脳機能障害者の居場所作りを目指しているところです。

地域活動支援センター まんとん

Q. どこでやるの？
 A. あいネットの場所を引き継いでやります。駅からも便利なので、移転後も何かできないかと考え、地活を主事業としました。ちよつと深い理由がありました。月・水・木・金・日という週5日の変則的な営業です。

さて、今は開所に向けての準備中ですので、これから皆さまのところへ、ご挨拶や勉強に向向かさせていただきます。新しい仲間としてぜひ温かくも厳しいご指導を頂きたいと思っております。
 どうぞよろしく申し上げます。

being room

「広報紙をつくらう!」の活動

発達障害の方を中心に活動している地域活動支援センターbeing roomより、昨年の秋に「制度についての話か?(本人向けに)何かプログラムをお願いできますか?」との依頼がありました。

少し考え、ピンときたのが「広報紙づくり」。

『「じんけん」ぼん』記事については、ミーティングで毎月検討(これってかっこよく言うと「企画会議」)皆さんに協力を得て取材。そして、原稿を作成して紙面におこす。

印刷前に内部での意見交換と上司のチェック(「編集会議」)ルーチンワークは広報紙づくりかな??

思い切ってbeingroomの広報紙づくりを、職員さん利用者さんと共に取り組みました。

企画会議

「障害をもっと理解してもらいたい」「普段生活をしていて、トラブルに巻きこまれがちなことを伝えたい」「自分の趣味をもとにして記事を書きたい(旅行は?ラーメンは?)」「beingroomでの活動も知ってもらいたい」など活発な意見交換。

編集会議→原稿作成→編集会議

(順番は前後しましたが)文字数にも制限があるので、実際に新聞記事を読み「何を伝えるように書いてあるのか?」さらにインターネット上のニュースを参考に、伝えたいエキスを短く文章にまとめる作業。これは私自身とても勉強になりまして…いかに自分が回りくどく文章を作成していたか、話しをしていたかに気づかされました。

最後はタイトルを決め、「おもしろ新聞」「広報 being」様々な意見がありましたが、[be-style]に決定。

少し文章の修正が必要でいまだ発行にいたっていませんが、乞うご期待の広報紙です。

(全6回のプログラム)

平成21年11月「広報紙って?」12月「企画会議」平成22年1月「原稿作成」2月「編集会議(原稿の見直し)」3月「編集会議」×2

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
初石病院「春祭り」	4/4(日) 9:45~	初石病院 グラウンド及び森林公園	無料	不要	医療法人社団 柏水会 初石病院 でんわ:04-7152-2251
摂食障害講演会 ~拒食・過食を乗り越えて~ (NPO法人のびの会) 武田 綾 先生 (千葉大学付属病院 こころのこども診療部 精神神経科) 中里 道子 先生 (爽風会 佐々木病院 院長) 佐々木 一 先生	4/17(土) 19:00~	きららホール 船橋市本町 1-3-1 フェイスビル 6F (JR 船橋駅南口徒歩2分)	無料	不要 当日先着 200名	爽風会 こころの風クリニック でんわ:047-422-1750(月~金) http://k-kaze.jp/ (担当:荒木)
新しいコミュニティケア 「ケアタウン小平」の実践 ~医療と福祉とプラスアルファ~ 講師:日本社会事業大学専門職 大学院客員教授 長谷 方人(はせ つねと)氏	4/25(日) 14:30 ~16:00	柏市教育福祉会館 2階 大会議室	無料	不要	東葛菜の花 「高次脳機能障害者と家族の会」 でんわ:04-7174-3998 (世話人:綿貫吉治) 後援: 柏市社会福祉協議会 柏市地域生活支援センターあいネット